

【種類別明細書の記入例】

※種類別明細書(一覧表) について

※この種類別明細書(一覧表)は、申告書と一緒に提出してください。

- この表は、前年1月1日現在の全資産(前年度申告内容)を印字してあります。
- 評価額・課税標準額については、令和7年度の数値が入っています。☒

異動区分		種類区分	品目番号	資産コード	資産の名称	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	1月1日現在 理論価額	1月1日現在 評価額	課税標準の特例	課税標準額	税額の特例	申請変更
01	1 2 3	1			フェンス	1 4 26 11	700,000	10	0.794						
02	1 2 3	2			太陽光発電設備	1 4 26 11	29,000,000	17	0.873						
05	1 2 3	2			多用並列機 並列機	1 4 27 3	370,000	7	0.720						
05	1 2 3	6			机・椅子 他	1 4 27 4	500,000	10	0.794						
05	1 2 3	6			パソコン	1 5 4 6	300,000	4							1

○税額の特例
課税標準の特例がある資産については「特例」と記入してください。

○増加事由
資産が増加したことの事由について、下記を参考に該当する番号を記入してください。

1. 新品取得
2. 中古取得
3. 異動による受け入れ
4. その他

※減価残存率から課税標準額は記入する必要はありません。

○耐用年数
「減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表」を参考に、耐用年数を記入してください。

○取得価額
該当資産の取得価額を記入してください。
なお、最下段の合計額は修正する必要はありません。

○取得年月
資産を取得(購入、製作)した年月を記入してください。
※月日ではないのでご注意ください。
年号は下記を参考に番号を記入してください。
1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和

異動区分欄(昨年と比較して、資産に増減・修正があった場合に記入します)

- 1 減少: プリントされている資産が減少した場合は、異動区分に赤ボールペンで1に○をしてください。
- 2 修正: プリントされている資産の名称、数値に誤りがある時は、赤のボールペンで2に○をし、二重線で抹消して、その該当上欄に正しい名称・数値を記入してください。
- 3 増加: 増加資産が有る場合は空いている行に赤のボールペンで3に○をし追記してください。記入しきれない場合は同様の書式を添付するか、市役所税務課まで連絡をお願いします。